

平成30年度事業報告

《概要》

平成30年度の事業計画に基づき、高齢者・障害者・児童等の福祉推進事業、広報啓発活動等の諸事業を実施し、共同募金・歳末たすけあい募金の配分金や善意銀行等の資源を活用しながら、区民ひとりひとりが住み慣れた地域社会で安心して暮らせるよう、様々な福祉活動の推進を図った。

高齢者福祉事業では、70歳以上のひとりぐらし高齢者及び75歳以上の高齢者世帯を対象にした高齢者見守り調査を行い、高齢者への地域見守り活動の充実を図るとともに、あんしんすこやかセンターと連携し、地域での介護予防・仲間作り活動を支援した。また、区地域ケア会議からの課題提起をもとに、ゴミだしを中心とした生活支援の取り組みを広めるため第1層の協議体及び「生活支援フォーラム」を開催して啓発した。

子育て支援事業では、子育てサークルへ専門講師等を派遣し活動支援するとともに、児童館や学童保育コーナーにイベント講師を派遣し、豊かな生活体験の場を提供した。また、児童館を中心にした子育てネットワークづくりを進め、出前児童館等を実施し児童館が地域の子育て支援の拠点としての役割を果たすように努めた。また、孫を持つ予定の方や既に孫育てをしている方を対象に、臨床心理士による「孫育て講座」を開催した。

ボランティアセンターでは、小学校の特別支援学級でこどものサポートをする「学校ボランティア養成講座」や「みんなで学ぼう初めての手話講座」等を開催し、福祉啓発やボランティア育成に努めた。また、「ボランティアまつり」では、登録ボランティア・ボランティアグループの活動を区民に周知してもらうとともに、ボランティアと区民が交流をもつ場として開催した。さらに、登録ボランティアとの情報交換会を定期的に開催し、活動の支援を行った。

地域福祉ネットワーク事業では、地域福祉ネットワークを中心に既存の制度やサービスでは対応しにくい課題をかかえる相談者への支援を行った。特にひきこもりの課題について、当事者や支援者の交流の場として「たるみカフェ」を開催した。

また、平成27年3月に発足した「垂水区社会福祉法人連絡協議会」(ほっとかへんネットたるみ)の活動に参画し支援を行うとともに、社会福祉法人の地域貢献活動と区民の抱える地域課題をつなぐことにより、地域課題解決に向けて取り組んだ。

さらに、働き方改革の一環として業務見直しを行うとともに、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等を進めるため、諸規程の整備や体制の強化を図った。

1 理事会・評議員会等の開催

- ① 第1回理事会 (平成30年6月6日(水)開催)
(議事) 平成29年度決算報告、平成29年度事業報告、新役員(理事)候補者の提出議案、評議員選任・解任委員会の招集、定時評議員会の招集・提出議案
- ② 第1回評議員選任・解任委員会 (平成30年6月26日(火)開催)
(議事) 評議員の選任
- ③ 第1回評議員会 (平成30年6月26日(火)開催)
(議事) 平成29年度決算報告、平成29年度事業報告、新役員(理事)の選任
- ④ 第2回理事会 (平成31年3月26日(火)開催)
(議事) 平成30年度補正予算(案)、平成31年度児童館の管理運営に関する業務の受託契約、平成31年度遺贈寄付の受け入れ、平成31年度事業計画(案)、平成31年度予算(案)、経理規程の一部改正(案)、評議員会の招集・提出議案
- ⑤ 第2回評議員会 (平成31年3月26日(火)開催)
(議事) 平成30年度補正予算(案)、平成31年度事業計画(案)、平成31年度予算(案)

2 広報・福祉啓発活動の実施

1) 広報紙「区社協だより たるみ」の発行（年1回/111,000部）

【決算額：1,114千円 財源：地域福祉推進基金 260千円 市社協補助金等】

本会の活動を紹介し、福祉活動への参加を促進するため、広報紙を発行し、区内全世帯に配付した。

第44号（平成30年10月1日発行）

（内容）生活支援コーディネーターのつぶやき、こうべ地域福祉ネットワーク事業、ファミリーコンサート参加者募集、孫育て講座、子育て応援講座、子どもの居場所づくりをはじめたい方へ、赤い羽根共同募金運動の開始案内、区社協事務所移転のお知らせ、ボランティア活動者の声、学校ボランティア養成講座、たるたるハート

2) ホームページの運営（<http://www.tarumi-csw.or.jp>）

【決算額：150千円 財源：市社協補助金等】

ホームページで本会の事業紹介、講座・イベント・ボランティア募集等の情報提供や公式ツイッター、職員ブログ「かんらかんら」の運営を行った。

3) 第23回たるみ生き生き保健福祉フェア

【決算額：16千円 財源：共募】

高齢者・障害者・児童等の保健・福祉の現状を紹介するとともに、地域でお互いに助け合う、保健・福祉活動への参加のきっかけとしてフェアを開催した。

（日 時）平成30年10月10日（水）～14日（日）

（場 所）垂水区役所1階・2階

（共 催）垂水区役所健康福祉課

区 分	内 容
特別イベント	たるみいい歯まつり（オーラルフレールチェック・口腔ケアクイズ）
展示・活動紹介コーナー	赤い羽根共同募金ポスター展、区内の児童館・福祉施設・団体などの活動紹介と作品・製品の展示、フードドライブ、親子ふれあいランド
体験コーナー	はり・マッサージ施術体験、AEDの紹介と実演、医療機器体験、こども体験コーナー
ふれあいコーナー	高齢者・障害者・児童等によるふれあいミニコンサート、ふれあい喫茶・バザーの実施（障害福祉サービス事業所出店）
相談コーナー	お薬と健康相談、健康よろず相談

4) たるみっこまつり 【決算額：690千円 財源：善銀510千円、市受託金180千円】

垂水区役所と協力し、まつりの運営に参加するとともに、模擬店やバザーを出店する区内の福祉関係団体や障害福祉サービス事業所等の参加を支援した。

（日 時）平成30年5月19日（土）午前10時～午後6時

（場 所）マリンピア神戸

（内 容）ボランティアセンター：福祉体験コーナー（車いす、ロービジョン、点字）、
ごしきまる記念撮影コーナー

児童館：キャップ落としゲーム

5) ポスタープリンターの利用貸出

【決算額：151千円 財源：善銀108千円、市社協補助金43千円（売上額：44千円）】

地域で各種事業・行事の横断幕やポスターなどを、イメージどおりに手軽にかつ安価に作成し、地域福祉活動推進の一助とすることを目的として、平成21年度よりポスタープリンターを設置し利用貸出を行った。（利用貸出数）16回

6) 福祉教育の推進 【決算額：12千円 財源：共募】

高齢者擬似体験用具・アイマスク・車いすなどを学校等に貸し出し、福祉教育の推進を図った。

	高齢者擬似体験用具	車いす	アイマスク	白杖	点字板
保管数	8	10	50	18	40

(平成30年度貸出実績) 小学校23件、中学校2件、施設11件 合計：36件

3 高齢者福祉の推進

1) 地域支え合い活動の推進 【決算額：230千円 財源：市受託金】

民生委員児童委員や友愛訪問ボランティア、あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員等と連携・協働しながら、地域住民による見守りや支え合い活動を進めるためのコミュニティづくりやネットワークづくりを支援した。

(小地域支え合い連絡会への出席) 延べ48回

2) 生活支援体制整備事業(協議体の運営) 【決算額：190千円 財源：市受託金】

本会生活支援コーディネーターを中心に、高齢者の仲間づくりや健康づくり、社会参加の機会の拡大、生活支援の取り組みを進めた。

また、生活支援・介護予防サービスの充実に向け、関係機関が一堂に会して協議する「協議体」や「支え合いを広げよう 生活支援フォーラム」を開催、事例集「生活支援をはじめよう！」を作成し、担い手の養成や新たな生活支援サービスの開発に取り組んだ。

第1回協議体

(日 時) 平成30年6月25日(月) 午前10時～午後12時

(内 容) 環境局垂水事業所、資源循環政策課より講話

第2回協議体

(日 時) 平成30年8月16日(木) 午後3時～午後4時30分

(内 容) 垂水区代表校長より講話、他都市の小中学校との連携事例紹介

第3回協議体

(日 時) 平成31年3月26日(火) 午前10時～午前11時30分

(内 容) 今年度の取り組み報告、必要な支援策についてグループワーク

『支え合いを広げよう 生活支援フォーラム』

(日 時) 平成31年2月18日(月) 午後1時30分～3時30分

(内 容) 生活支援とは、事例紹介 他

3) 見守り推進員(高齢世帯生活援助員)派遣事業

【決算額：18,846千円 財源：市受託金】

ひとりぐらし高齢者が多い災害復興公営住宅等に設置したあんしんすこやかルームに、見守り推進員(高齢世帯生活援助員)を配置し、高齢者の身近な見守り拠点として活動した。

【区内あんしんすこやかルーム／5か所】

「あんしんすこやかルーム あじさい」(市営東多間台住宅)

「あんしんすこやかルーム きたまいこ」(市営北舞子第四住宅)

「あんしんすこやかルーム 高丸」(県営高丸住宅)

「あんしんすこやかルーム にこにこ」 (市営旭が丘第二住宅)

「あんしんすこやかルーム あすなろ」 (県営東垂水住宅)

4) コミュニティサポートグループ育成支援事業

【決算額：978千円 財源：市社協補助金】

見守りや支え合い活動が必要な地域において、住民によるコミュニティ活動の立ち上げ支援のため、あんしんすこやかセンターの協力のもと、コミュニティサポートグループ育成支援事業助成を行った。

(平成30年度助成実績)

地域貢献活動	介護予防促進	コミュニティづくり	合計
3	8	23	34

5) ひとりぐらし高齢者友愛訪問ボランティア活動への支援

【決算額 7,386千円 財源：市補助金4,986千円、善銀2,400千円】

ひとりぐらし高齢者等へ訪問や電話による見守り活動等を行っているグループに対し、運営費の助成を行った。

(平成30年度活動実績)

グループ数	対象高齢者数	ボランティア数	活動回数 (安否確認)
249	2,934	1,200	315,456

友愛訪問ボランティア等を対象に研修会を開催

(日 時) 平成30年12月21日(金) 午後1時45分～3時30分

(内 容) 講演「あー よかったな あなたがいて～つながりと感動を合言葉に～」

講師：教育サポーター 仲島 正教さん

(参加者) 175名

6) ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会活動への支援

【決算額 8,363千円 財源：市補助金7,563千円、共募800千円】

ひとりぐらし高齢者等の閉じこもり防止やふれあい交流を目的に給食会活動を行っているグループに対し、運営費の助成を行った。

(平成30年度活動実績)

グループ数	延べ参加高齢者数	延べ参加ボランティア数	実施回数
40	15,804	4,688	454

7) ふれあい給食活動グループへのバス旅行助成 【決算額 180千円 財源：善銀】

善意銀行助成要綱に基づき、バス旅行を行う給食会活動グループに対し、上限バス2台の経費の助成を行った。

助成団体数	助成金額(円)
2	60,000円
2	120,000円

8) 高齢者見守り調査の実施

【決算額 2,421千円 財源：市受託金】

見守りが必要な高齢者の状況を把握するために、新たに70歳以上の単身世帯となった高齢者及び75歳以上の高齢者のみとなった世帯に対し、郵送による事前調査の後、民生

委員が訪問して緊急連絡先や生活状況の把握に努めた。

(平成 30 年度 郵送調査の対象世帯数)

新たに 70 歳以上の単身となった世帯 955 世帯

75 歳以上の高齢者のみ世帯 1,511 世帯

9) 満点体操普及事業

【決算額 10 千円 財源：市社協補助】

オリジナルの介護予防体操「満点体操」を普及させるため、体操内容を図解するパンフレットを作成して配布した。

10) たるみおたよりくらぶの実施

【決算額：69 千円 財源：共募】

ひとりぐらし高齢者・障害者等の希望者に対し、ボランティアが絵手紙・切り絵など趣向をこらした手作りのカードを製作し、月 1 回送付した。

(送付希望者数) 105 名 (活動ボランティア数) 22 名

11) たるみふれあい電話の実施 (テレフォンサポート事業)

【決算額：160 千円 財源：市社協補助金】

ひとりぐらし高齢者・虚弱者等に対して、ボランティアが週 1 回電話をかけ、安否確認、孤立防止、相談等を行った。

(対象者数) 24 名 (ボランティア数) 9 名

13) 歩行杖の交付

【決算額：1,129 千円 財源：善銀】

善意銀行の金銭預託の払出しを受け、満 70 歳以上の高齢者に歩行杖を交付した。

(平成 30 年度交付実績) 計 1,203 本

14) 車いすの貸出し

地域福祉センター (25 ヶ所) 及び本会事務局に車いすを配備し、区民に無料で貸出しを行った。

貸出件数 (事務局での平成 30 年度貸出実績 計 292 件)

貸出期間 (当日から最長 90 日間)

4 児童福祉の推進

1) 児童館の運営

【決算額：95,332 千円 財源：市社協受託金他】

児童館 4 館 (愛垂・東垂水・星陵台・小東山) 及び 5 カ所の学童保育コーナー、のびのびひろばの管理運営を行った。

2) 区内児童館のネットワークの強化及び活動支援

【決算額：528 千円 財源：市社協受託金他】

民間運営の児童館を含め、区内 14 児童館のネットワーク強化と活動支援、地域の子育て支援事業の推進に取り組んだ。また、児童館の合同行事を行った。

① 訪問・巡回

【決算額：84 千円 財源：市社協受託金】

内 容	回 数
放課後児童クラブ・安全管理指導	35
事務巡回	7
その他	35
合計	77

② 指導員研修 【決算額：45千円 財源：市社協受託金】

日 程	内 容	参加者数
5月15日(火)	0歳児の育ちと支援、乳幼児親子防災プログラム	16
10月16日(火)	タネからネタから考えてみよう！マイ児童館のあそび	16

③ 放課後児童支援員研修 【決算額：50千円 財源：市社協受託金】

日 程	内 容	参加者数
6月21日(木)	保護者対応について	39
10月23日(火)	子どもが楽しく過ごせる工夫・子どもへの言葉かけ	38

④ 区内児童館合同館長会

日 程	内 容	出席館数
5月22日(火)	平成30年度児童館事業について・情報交換	14
2月26日(火)	平成31年度合同行事について・情報交換	13

⑤ 子ども・子育てサポート事業の実施 【決算額：75千円 財源：市社協受託金】

(1) 名谷子育てサロン

親子遊びを中心に、あそび・交流を通して子どもと子育て家庭への支援のため、児童館の設置がない地域で「出前児童館」を実施した。

(実施期間・回数) 平成30年5月21日(月)～平成31年3月4日(月)(10回)

(場 所) 名谷学童保育コーナー

(対 象) 就学前の乳幼児

(参加者) 123名

(2) 舞多間子育てひろば立ち上げ支援

垂水区北西部に広がる住宅地内には児童館が設置されていないが、幼児の数は多く、転居してきたばかりで友だちがいないという親子も多数いる。そのような就園前の親子を対象に子育てひろばを実施する団体の後方支援を行った。講師を派遣し、プログラム(1回)を実施した。

(実施日) 平成31年1月24日(木)

(場 所) 舞多間学童保育コーナー

(対 象) 2歳児～5歳児

(参加者) 83名

⑥ 垂水区児童館・学童保育コーナーへのイベント派遣事業

【決算額：182千円 財源：共募182千円】

垂水区ボランティアセンター等に登録している団体を児童館等に講師として派遣し、児童に対しての多彩な活動を支援した。

内 容	回	参加数
すとりべリーじゃむとあそぼう	3	113
楽しく音楽に合わせて体操しよう	4	150
元気！わくわくキッズヨガ	4	140
紙芝居がやってきた	3	147
アニソンや元気の出る歌と一緒に歌おう！	5	124
昔話を聞きながら笑おう！	2	78
マジックを楽しもう	4	333
合 計	25	1,085

⑦ 垂水区児童館合同行事

【決算額：164千円 財源：共募114千円 市受託金50千円】

区内14児童館が合同で親子を対象にした行事を実施することで、親子交流を図るとともに、社協児童館、民間児童館の連携強化に努めた。

(たるみっこまつり)

(日 時) 平成30年5月19日(土) 午前10時～午後5時

(場 所) マリンピア神戸 児童館ブース

(内 容) キャップ落としゲーム

(ファミリーコンサートの実施)

(日 時) 平成30年11月16日(金) 午前10時半～11時半

(場 所) レバンテホール

(内 容) かぼうまコンサート

(参加者) 518名

平成30年度 児童館・コーナー利用者数

	月平均	年度合計
愛垂児童館	1,812	21,752
高丸コーナー	1,407	16,883
高丸のびのびひろば	351	4,214
東垂水児童館	1,386	16,627
福田コーナー	1,410	16,918
星陵台児童館	1,303	15,635
東舞子コーナー	1,242	14,900
小東山児童館	2,453	29,431
小東山コーナー	1,195	14,336
多聞東コーナー	616	7,386
合計	13,174	158,082
合計(児童館)	6,954	83,445
合計(コーナー)	5,869	70,423
合計(のびのびひろば)	351	4,214

平成30年度児童館学童保育登録者数

	月平均
愛垂児童館	92
高丸コーナー	77
東垂水児童館	46
福田コーナー	83
星陵台児童館	58
東舞子コーナー	84
小東山児童館	68
小東山コーナー	59
多聞東コーナー	40
合計	602

平成30年度児童館学童保育延長登録者数

	月平均
愛垂児童館	22
高丸コーナー	13
東垂水児童館	9
福田コーナー	15
星陵台児童館	8
東舞子コーナー	18
小東山児童館	19
小東山コーナー	12
多聞東コーナー	7
合計	122

平成30年度区社協館・コーナー高学年登録者数

	月平均
4年生	54
5年生	12
6年生	2
合計	68

※「月平均」の数値は小数点以下四捨五入

3) 子育て支援事業の実施

① 子育てコミュニティ育成事業の推進 【決算額：1,200千円 財源：市社協補助金】

地域の子育てコミュニティ形成を目的に、日曜・祝日に児童館を開放するなどして、様々なイベントや事業を実施していただいた。

(実施回数) 延べ134回 (13館の合計)

(内 容) セタ・もちつき・卓球・工作・クッキング等

② 子育てコミュニティ連絡会の開催

(日 時) 平成31年3月14日(木) 午前10時~11時半

(内 容) 平成30年度活動報告、情報交換、事務連絡

③ 地域の子育てサークルへの講師派遣事業の実施

【決算額：180千円 財源：市社協地域福祉推進基金】

区内の子育てサークルの活動を支援するために専門講師等を24サークルに派遣した。

内 容	回	参加数
楽しくクッキング 手軽にバランスよく	3	164
親子でハッピータイム	5	153
すとりべリーじゃむと遊ぼう！	2	42
わらべうたと手作りおもちゃであそぼう	2	43
スキンシップでリラックス ベビーマッサージ・ベビーストレッチ	2	40
身体を使ってコミュニケーション&リラックス	3	67
愛情いっぱいママとふれあいマッサージ	2	51
音楽とあそび！Let's Play	3	88
3B体操 親子でふれあい 楽しくあそぼう	2	93
合 計	24	741

④ 子育てネットワーク活動の参画

子育て支援ネットワーク会議の一員として、「講演会・情報ワーキング」「地域活動支援ワーキング」に参加した。

⑤ 子育て講座

【決算額：39千円 財源：市社協受託金】

核家族化の進行等の社会的背景を踏まえ、近い将来孫をもつ予定の方や既に孫を育てておられる方を中心に専門家による講座を開催し、最近の育児情報を提供した。講師は、「孫育ての教科書」の著書である臨床心理士の井上淳子氏。

月 日	時 間	参加者					参加者合計
		祖 父	祖 母	祖父 予定者	祖母 予定者	興味 ある方	
10月25日(木)	13:30~15:30	1	3	0	0	0	4
11月16日(金)	13:30~15:30	1	4	1	0	0	6
12月11日(火)	13:30~15:30	1	1	0	1	2	5
参加者合計		3	8	1	1	2	15

⑥ 子どもの居場所づくり事業

【決算額：51千円 財源：市社協受託金】

子どもの居場所づくり事業（学習または食事を提供する活動）を支援するとともに、市補助金対象外の3団体に助成を行った。

支 援 内 容	回 数
補助金決定団体からの状況確認	24
現地確認による運営支援	14
情報交換会〔平成30年3月13日(火)〕	1
その他（団体の調整・報告など）	49
合 計	88

4) 子ども会活動への助成

【決算額：10千円

財源：善銀】

児童健全育成のため子ども会活動を支援する助成を行った

- 5) 垂水地区青少年育成協議会への助成 【決算額：10千円 財源：善銀】
 青少年育成を支援するための助成を行った。
- 6) 垂水区体育協会への助成 【決算額：10千円 財源：善銀】
 体育協会を支援するための助成を行った。

5 障害者福祉の推進

- 1) 垂水区地域自立支援協議会の運営参加
 障害者の自立と社会参加の促進を目的に、区内の障害者福祉施設、教育・行政機関等とともに垂水区地域自立支援協議会の運営に参加した。(運営委員会、就労支援部会及び防災部会等) 協議会の活動を通じて、情報発信や各種課題の検討を行った。
- 2) 障害者福祉団体・自助団体への助成 【決算額：240千円 財源：善銀】
 障害者福祉団体・自助団体の活動を支援するため、6団体に対し、善意銀行の助成を行った。
- 3) 障害者福祉サービス事業所等への支援 【決算額：400千円 財源：善銀】
 区内の障害福祉サービス事業所等に対し善意銀行の助成を行った。
 また、障害福祉サービス事業所が自主製品を販売し、働く仲間たちの工費アップを図ることを目的に、毎月1回、区役所1階ロビーにおいて「たるみアンテナショップ」を開催した。
 (共催：垂水区地域自立支援協議会)
 (助成事業所数) 20ヶ所
 (助成金額) 20,000円(1事業所あたり)
- 4) みんなで学ぼう初めての手話講座の開催 【決算額：502千円 財源：市社協補助金】
 手話通訳ボランティア育成の一環として、垂水区聴力言語障害者福祉協会及び手話サークルたるみの協力を得て、初心者向けの手話技術講習及び聴覚障がい者との交流会を開催した。
 <昼の部> 平成30年5月10日～9月27日(20回) 午前10時～午後12時
 受講者22名 修了者21名
 <夜の部> 平成30年5月10日～9月27日(19回) 午後6時45分～8時45分
 受講者29名 修了者26名

6 ボランティア活動の推進

1) ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方(団体・個人)とボランティア活動に来てほしい方(団体・個人)を結びつけるためのコーディネート(連絡調整)、ボランティア同士の交流や情報交換、ボランティア講座の開催などボランティアの育成支援、啓発、相談等を行った。

また、垂水年金会館内に設置するボランティアルームの貸出しにより、ボランティアの会議、打合せ等の活動を支援した。

(平成30年度運営実績)

ボランティア登録数 (31年3月末)		活動申込件数		ニード申込件数		マッチング件数		ボランティア ルーム利用件数
団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	
237	344	25	92	228	77	272	55	594

マッチング内容	件数
出演・レクレーション	147
外出支援	85
作業補助	39
生活支援	33
技能活用	10
指導	7
地域交流	6

2) ボランティアセンターだより「たるたるハート」の発行

【決算額：293千円 財源：市社協助成金】

ボランティア活動への理解を深め、活動への参加を促進するため、広報紙を年3回発行し、ボランティア(団体・個人)や区民、社会福祉施設等に配布した。

(内容) ボランティアの活動紹介、募集、各種講座案内、災害ボランティアセンター(岡山市)派遣報告、西日本豪雨災害募金垂水区募金額報告等

- ① 第131号(平成30年10月1日発行)
※広報紙「区社協だより」合併号/全世帯配付
- ② 第132号(平成30年12月1日発行)
- ③ 第133号(平成31年3月1日発行)

3) ボランティアセンター居場所事業

ボランティア登録者で、活動につながっていない方を中心に、ボランティアセンター発行物の封入作業等を行った。

(開催数) 5回(6・8・9・11・2月)
(のべ参加者総数) 33名

4) 講座・交流会等の開催

- ① みんなで学ぼう初めての手話講座の開催 5-4) 再掲

- ② 学校ボランティア養成講座 【決算額：110千円 財源：市社協補助金】

小学校で支援を必要としている子どもたちの障がいについて学び、特別支援学級等で学習の見守りや付き添いをサポートするための知識・理解を深めるために開催。

(日時) 平成30年11月8日(木)午後1時半~4時

「学校(特別支援学級)でのボランティアについて」

平成30年11月12日(月)~22日(木)のうち1日

見学・実習(小学校特別支援学級)

平成30年11月29日(木)午後1時半~4時

「障がいのある子どもたちへのサポートについて・実習の振り返り」

(延べ参加者) 65名

- ③ 学校ボランティア ミーティング 【決算額：88千円 財源：市社協補助金】

「学校ボランティア養成講座」受講後、学校でのボランティア活動を始めた方、また、現在活動中のボランティアが集まり、活動上の悩み、工夫等の情報交換を行った。

(日時) 平成31年2月7日(木) 午後1時半~4時

(参加者) 17名

- ④ 「ボランティア The 談会」の開催 【決算額：12千円 財源：市社協補助金】
 ボランティアセンターに登録する団体・個人等の情報交換のため開催した。主にボランティアセンターが関わる年間行事（たるみっこまつり、垂水区民スポーツの日、ボランティアまつり等）の企画・運営につき討議し、行事に参画した。
 （開催） 隔月1回（原則奇数月 午後1時半～3時）
 （出席者） 平均13団体・20名

- ⑤ 「ボランティアまつり」～みんなであそぼうたるみフェスタ～ 【決算額：20千円 財源：共募】
 ボランティアと区民の交流会として開催。多くの登録ボランティア・実施のスタッフとして活躍した。
 （日時） 平成30年4月14日（土）午前12時～午後4時
 （場所） 垂水区役所 1階ロビー、大会議室他
 （内容） ステージイベント・体験コーナー・展示コーナー・シールラリー・フードドライブ等
 （参加者） ボランティア186名・来場者 約760名

- ⑥ 「たるみっこまつり」への参加 2-4) 参照

- ⑦ 「垂水区民スポーツの日」への参加 【決算額：13千円 財源：共募】
 （日時） 平成30年10月20日（土）午前10時～午後3時
 （内容） 登録ボランティアによる「障害物競走」運営・チャレンジボール等

5) ボランティア活動への助成

ボランティア活動を支援するため、ボランティアグループへの運営費助成を行った。また、ひょうごボランティア基金の県民ボランティア活動助成の受付を行った。

【決算額：1,101千円 財源：共募980千円、市社協補助30千円、県社協補助金91千円】
 （平成30年度実績）

	区社協助成	県民ボランティア活動助成	
		エントリー受付	申請受付
助成件数	68件	98団体	95団体
助成金額	980,000円		(2,375,000円)

6) 災害ボランティアセンター運営のための模擬訓練

【決算額：49千円 財源：市社協補助金】

垂水区海岸部が大雨により一部水没したとの想定で、県立舞子高校環境防災科3年生を対象に災害ボランティアセンター模擬訓練を実施した。舞子高校生がボランティア受付班・派遣調整班・総務班などの役割を担当し、実際の対処困難ケースにどのように対応するかを学ぶ機会となった。また、各地域の災害時における取り組み事例を紹介し、災害時の地域の動きを学んだ。最後に訓練のまとめとしてグループワークを行い、全体で共有を行った。

（日時） 平成30年12月13日（木）午前8時55分～11時45分
 （参加者） 生徒38名

7) 災害ボランティア活動訓練

【決算額：128千円 財源：市社協補助金】

台風による土砂崩れで、被災した塩屋地区で、神戸学院大学ボランティア活動支援室、ほっとかへんねっとたるみ、自治会の協力を得て、土砂を土嚢袋に入れて搬出する災害ボランティアの実践訓練を実施した。

（日時） 平成31年2月8日（金）午前8時45分～12時
 （参加数・成果） 8名・土嚢約200袋

7 地域福祉の推進

1) 共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の運動に協力するとともに、共同募金を財源とした福祉啓発事業や民間福祉活動等への助成を行った。また、期間拡大運動では、「ごしきまろ缶バッジ・マグネット」を使用した募金活動や、垂水区初となる募金百貨店プロジェクトに取り組み、募金促進を図った。

① 募金実績

- a. 赤い羽根共同募金（10月～3月） 9,352,552円
- b. 歳末たすけあい募金 2,700,000円（aの一部）
- c. 赤い羽根共同募金（1月～3月期間拡大分） 1,051,228円（aの一部）

② 配分実績

- a. 赤い羽根共同募金 計 4,864,352円（昨年度の募金実績額に応じた垂水区への配分）
 - （内訳）・高齢者福祉活動費 848,298円
 - ・障害者（児）福祉活動費 42,783円
 - ・児童・青少年福祉活動費 415,694円
 - ・ボランティア活動費 1,002,076円
 - ・たるみ応援ハートブリッジ助成（公募助成） 371,000円
 - ・地域福祉推進活動費 1,838,559円
 - ・次年度繰越金 345,942円
- b. 歳末たすけあい募金 計 2,700,000円
 - （内訳）ひとりぐらし高齢者地区行事（10,977人） 2,700,000円

③ 明日に架ける「たるみ応援ハートブリッジ助成」の実施

【決算額：1,071千円 財源：共募、善銀】

赤い羽根共同募金と善意銀行を財源に、区内の地域福祉を推進する団体を公募し、助成した。（一般公募助成）

平成30年度 助成実績 7団体・施設 1,071,000円を交付

④ 啓発ポスター展

共同募金への理解を深めてもらうため、垂水区内の小学生・中学生を対象にポスターを募集し、展示した。

（期 間）平成30年10月10日（水）～12日（金）

（場 所）垂水区役所1階ロビー

（応募総数）小学生の部 46点 / 中学生の部 10点

2) 地域福祉ネットワーク事業

【決算額：1,200千円 財源：市社協補助金】

地域福祉ネットワークを中心に生活困窮者や制度の狭間など既存のサービスでは解決できない課題の解決に向けて、専門機関と連携して取り組んだ。また、地域に共通する課題については、解決に向けた仕組みづくりにも取り組んだ。

（個別支援の実績）

- ・ 暮らし支援窓口などと連携し、生活困窮や社会的孤立などの課題を抱えた方々への個別支援を行った。

平成30年度 新規相談 77件 課題への支援 延べ613回

- ・ 生活困窮世帯に対し食糧を提供した
平成30年度支援先 21世帯

(個別支援の代表的な事例)

- 十分に生活できる収入があるが、適切に使うことができずライフラインを止められたひとりぐらし高齢男性
夏場だったため緊急小口資金を貸し付けてライフラインを復活させ、くらし支援窓口の家計相談支援につないだ
- 十分に生活できる収入があるが、適切に使うことができずライフラインを止められた子育て世帯
スクールソーシャルワーカーから相談があった世帯。緊急で食糧支援をするとともに、くらし支援窓口へつないだ。支援の過程で介護問題も把握し対応中である。
- 強制執行で自宅を退去しなければならないが、助けを求めることができなかつた80代母親と60代息子
退去の2日前に相談があり、あんしんすこやかセンターとともに緊急対応した。最終的に親子で養護老人ホームに入所した。
- 万引きで何度も逮捕されているひとりぐらし高齢者男性
民生委員から相談があり生活保護につながぐが、再度逮捕されてしまった。あんしんすこやかセンターとともに対応中。

(地域課題支援の実績)

- ・ ベルデ名谷課題解決プロジェクトとして、住宅内の拠点で子どもの居場所や住民交流イベントの開催を開設した。

事業名	月日	内容	参加人数
夏休み子どもの居場所	8月7・21・28日(火)	(火) 宿題支援	延べ72名 実人数23名
	8月9・23・30日(木)	(木) 食支援	
交流イベント	3月3日(日)	東北復興支援イベント	約150名

- ・ 「ほっとかへんネットたるみ(垂水区社会福祉法人連絡協議会)」に参画し、地域貢献活動に取り組んだ。新規の取り組みとして、本多聞地区にて福祉なんでも相談窓口を開設した。(H30.6~延べ8回実施)
- ・ ひきこもりの方と家族・支援者を対象にした「たるみC a f e」を開催した。

日時	対象者	内容	参加人数
11月21日(水) 15:00~17:00	当事者	茶話会	5名
11月26日(月) 15:00~17:00	家族・支援者	講演会「ひきこもりについて」 講師:神戸オレンジの会 理事長 藤本圭光さん	家族8名 支援者5名

- ・ 多聞東地区にて地域福祉ネットワーク会議を開催した。
(日 時) 平成31年3月5日(火) 10:00~11:30
(内 容) 多聞東を見直すワークショップ
(参加者) 17名

3) 善意銀行の運営

- ① 地域社会の福祉を増進し、明るいまちづくりに寄与するため、広く区民から贈られた善意の金品を受け入れ、福祉施設・団体等へ払い出しを行った。

(平成 30 年度預託・払出実績)

	預託		払出	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
金銭	36	1,602,547	33	6,021,848
物品	54	—	27	—

- ② チャリティー映画会の開催を通じて、区民に善意銀行を広報するとともに、収益を区民の福祉に役立てるため、垂水チャリティー映画会『キセキの葉書』を上映した。

(上映日) 平成30年7月10日(火)

(場所) 垂水勤労市民センター レバンテホール

(来場者数) 午前の部 294人 午後の部 260人

4) ふれあいのまちづくり協議会活動への支援

25 地区のふれあいのまちづくり協議会に対し、ネットワーク会議等を通して情報提供等の活動支援を行った。

5) 民生委員児童委員協議会活動への支援 【決算額：65 千円 財源：市社協補助金他】

ひとりぐらし高齢者等と、地域の多世代とが交流、親睦を深め地域の活性化を図ることを目的とした事業を実施する民生委員児童委員協議会 19 地区に対し助成を行った。

6) 日本語教室の運営 【決算額：700 千円 財源：市社協補助金他】

中国帰国者が多く在住する垂水区神陵台地区の地域福祉振興を図るため、神陵台ふれあいのまちづくり協議会に運営を委託し「日本語教室」を毎週土曜日に開催した。

(開催回数) 43 回

(会場) 神陵台地域福祉センター

(参加者) 668 名

7) 車いすの貸出し 3-13) 再掲

8) ポスタープリンターの利用貸出 2-5) 再掲

8 相談・援助事業

1) 心配ごと相談所の運営 【決算額：104 千円 財源：市社協補助金】

昭和 45 年 9 月 1 日から区民のよろず相談の窓口として開設している。

平成 30 年度の開設日数は、89 日で、運営状況は下記のとおり。相談者は、女性が約 8 割以上を占める。相談内容は家族、住宅、生計、精神保健に関するものが多くみられた。

また、相談内容によっては、当会ネットワーカーへ繋ぐケース、他機関を紹介するケースなど解決に向けて助言を行った。

(日時) 毎週火・金曜日、13:00~15:30 (昭和 54 年 7 月から週 2 回開設)

(場所) 垂水区社会福祉協議会内相談室

(相談員) 民生委員・児童委員、保護司など 17 名

① 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	9	9	8	8	5	7	6	10	2	3	7	8	82

② 相談内容

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	8	財産	6
年金	0	事故	1
職業・生業	0	障害者（児）福祉	1
住宅	12	教育・青少年	3
家族	25	児童福祉・母子保健	0
結婚	0	母子・父子福祉	0
離婚	4	高齢者福祉	4
健康・保健・衛生	6	苦情	6
医療	1	地域福祉権利擁護	1
人権・法律	0	その他	4

③ 相談員研修会

- (日 時) 平成 31 年 3 月 25 日(月) 13 : 30~16 : 30
 (テーマ) 「そうだったのか！相続税～節税もして争族から想族へ～」
 (講師) あじさい総合事務所 税理士 浜口 祐介 氏
 (参加者) 16 名

2) 成年後見制度事前相談室の運営協力

神戸市成年後見支援センターが実施する「成年後見制度事前相談室」の開設、運営に協力した。(平成 25 年 9 月開設)

- (日 時) 第 2・4 水曜日 13:30~15:30
 (場 所) 垂水区社会福祉協議会内相談室
 (相談員) 市民後見人養成研修を修了した市民後見人候補者
 (平成 30 年度相談件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	1	3	4	1	3	1	2	2	-	1	0	1	19

3) 元気なうちの税務相談～終活・相続・遺贈寄付～

【決算額：110 千円 財源：市社協補助金】

エンディングノートや相続、遺贈寄付等に関心が高まっているため、平成 29 年 8 月より税理士による終活相談窓口（要予約）を開設した。

- (日 時) 原則第 3 水曜日、午後 1 時半～3 時半（お 1 人約 30 分程度 先着 4 名迄）
 (場 所) 垂水区社会福祉協議会相談室、(相談員) 税理士 浜口 祐介氏

(平成 30 年度相談件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
予約件数	4	4	4	4	3	4	4	4	-	-	4	4	39
来所件数	4	3	4	2	1	3	4	2	-	-	3	4	30

※12 月、1 月は、事務所移転により相談室利用不可で開催中止

4) 生活福祉資金貸付

低所得、身体障害者世帯等の経済的な自立、在宅福祉の推進、社会参加の促進を図り、地域社会での安定した生活を支援するため、生活福祉資金貸付の相談・受付を行った。

(平成 30 年度貸付決定実績)

資金の種類		件数	貸付決定
			金額 (円)
福祉資金 (福祉費)	一時的に必要な経費	0	0
	エアコン購入費	3	191,000
	転宅費	2	270,000
教育支援資金	教育支援費	16	6,011,000
	就学支度費	23	8,690,000
総合支援資金		0	0
合 計		44	15,162,000

5) 要保護者緊急援護資金償還

生活保護世帯の窮迫した生活の緊急需要に対応するための緊急援護資金の償還事務を行った。

事業報告の附属明細書

平成30年度 事業報告は、社会福祉法第45条32第1項に規定する事業報告の附属明細書として記載する事項はありません。